

3. 2022 年の気温と降水量の概況

2022 年の関東甲信地方、東海地方、近畿地方、四国地方、九州北部地方における気温平年差と降水量平年比を表 3.1 及び図 3.1 に示す。ここで平年差（比）とは、平年値（1991～2021 年の観測値の平均をもとに算出）と 2022 年の観測値との差（比）を示す。

2022 年は台風の発生数が 25 個、日本への接近数が 11 個、上陸数が 3 個であり、全て平年並みであった。

表 3.1 各地方別気温平年差及び降水量平年比（気象庁資料^(a)から作成）

○気温平年差（℃）

地方名	12～2月 冬	3～5月 春	6～8月 夏	9～11月 秋	2022年
関東甲信	-0.5	+1.0	+0.9	+0.7	+0.5
東海	-0.5	+1.2	+0.7	+1.0	+0.6
近畿	-0.6	+1.1	+0.8	+0.9	+0.5
四国	-0.4	+0.8	+0.8	+1.0	+0.4
九州北部	-0.5	+1.1	+1.1	+1.0	+0.6

○降水量平年比（％）

地方名	12～2月 冬	3～5月 春	6～8月 夏	9～11月 秋	2022年
関東甲信	104	120	94	89	96
東海	85	110	131	97	106
近畿	76	86	88	89	82
四国	51	96	72	82	78
九州北部	50	90	78	95	81

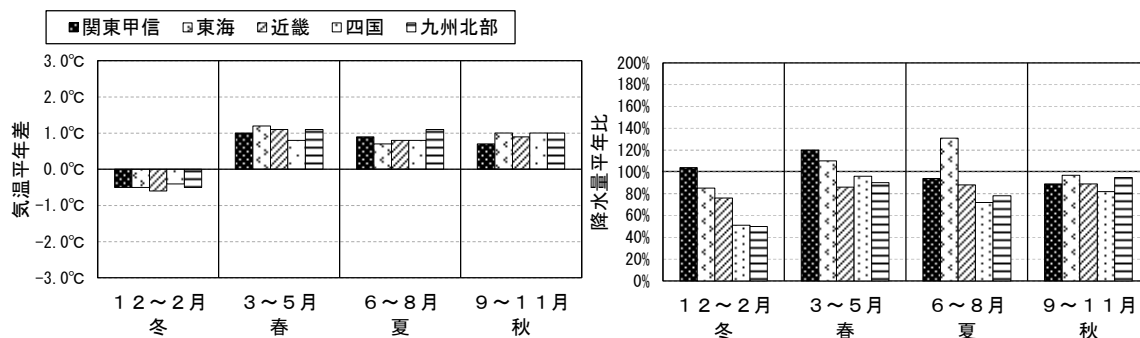


図 3.1 各地方別気温平年差及び降水量平年比

参考文献 (a) 気象庁ホームページ「日本の地域平均気候表」

(参考) 日本の気温の変化

2022 年の日本の平均気温の基準値（1991～2020 年の 30 年平均値）からの偏差は+0.60℃で、1898 年の統計開始以降、4 番目に高い値となった。日本の年平均気温は、様々な変動を繰り返しながら上昇しており、長期的には 100 年あたり 1.30℃の割合で上昇している。特に 1990 年代以降、高温となる年が頻出している。※

※ 気象庁 HP (http://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/an_jpn.html) から引用